

ならは 今とこれから MAP



(仮称)ならはスマートI.C

- 平成30年度供用開始
- 地域経済の活性化
 - 避難経路の確保
 - 救急救命活動の向上

・交通ネットワークの形成



平成28年春より水稲作付再開

・農業を介した交流づくり



楢葉中学校

- 平成29年4月に学校再開
- 小中学校同一校舎において連携型教育

・魅力ある学校づくり



復興の新拠点 コンパクトタウン

- 災害公営住宅123戸のほか、宅地分譲地も整備中
- 歯医者さんも平成28年夏頃に診療開始予定
- 商業施設は平成28年度末オープン予定

・新たな町民のコミュニティ受け入れ
・スマートコミュニティ導入



ふたば復興診療所「ふたばリカール」

- 内科と整形外科を診療
- CTや内視鏡検査も受けられます



災害公営住宅

- 一ツ屋団地 8戸
- シウ神山団地 10戸



楢葉南工業団地

- 楢葉遠隔技術開発センター(写真)(モックアップ施設)等に関連した企業等を集積
- 新たな企業の誘致

・関連技術活用による起業、ベンチャー企業支援

～広域連携の観点から復興の取り組み～

- ◎広域を見据えた農業の取組み
 - ・それぞれの地域で農業が始まりつつある状況を踏まえ、しっかりとしたモニタリング体制のもと、市町村の特色を活かした「産地化」を進め、市町村の枠を超えた農業の再生が必要。
- ◎「介護・福祉・医療」の連携
 - ・居宅やデイサービス事業者不足に加え、特養や老健、障害者が利用する施設は共通して働き手が不足しており、広域連携し優秀な人材確保が必要。医療においては地域へ戻る住民のニーズに沿った広域を視野に入れた医療体制の構築が必要。
- ◎教育の連携
 - ・この春、町内で小中学校とこども園を再開。希望する近隣町村の子ども達を積極的に受け入れており、「ふたばの教育」を担うよう、このスタイルを継続していく。
- ◎「公共施設、体育施設」の活用
 - ・既に解除されている市町村の公共施設、体育施設を有効に活用するよう広域的な連携を行っていく。



産業再生エリア

- 新たな企業の誘致

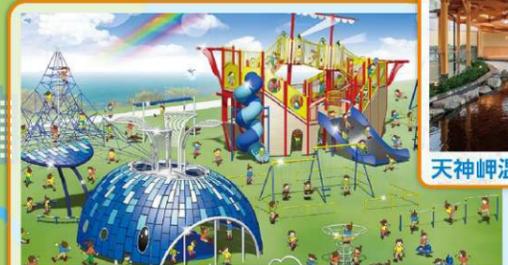
・新産業への産業転換による持続可能な企業活動の推進



竜田駅東側エリア

- 駐車・乗降スペースのある駅前広場
- 廃炉関連企業の事務所及び宿舍等を整備

・交通結節点形成による地域住民の足の確保



天神岬スポーツ公園

- しおかぜ荘、サイクリングターミナルがリニューアルオープン!
- 芝生広場には新しく大きな遊具が登場!



天神岬温泉しおかぜ荘



洋上風力発電



天神岬公園津波防災対策ビューポイント

震災の記録を後世に伝える施設



木戸川のサケ漁

- サケ漁も再開!
- 鮭ふ化場などの施設も復旧



新生Jヴィレッジ

世界に誇るナショナルトレーニングセンターとして再生! 平成30年夏までに一部営業を再開!

・Jヴィレッジの復興



太平洋